



門脇 輝明 議員

町費外会計の 取り扱い額は

町長

106件で約2億2千万円だ

【門脇】不適切事務の再発防止策は。

【町長】①非営利企業に従事する職員の把握
②随意契約ガイドラインの共有および50万円以上の契約を公開
③契約保証金の免除申請書を徴取
④職員が兼務している団体の検査を他の職員が実施、公益通報窓口の周知、コンプライアンス研修の実施、5つの心の道しるべの掲出などである。

【門脇】平成29年度に職員が取り扱った町費外会計の件数と額は。

【町長】106件、収入は約2億2400万円、支出が約2億1800万円、残額は約4700万円だ。

【門脇】セクハラ、パワハラの相談件数は。

【町長】平成28・29年度に相談はなかった。

【門脇】平成29年度の年間監査日数は。

【監査委員】9日だ。



ドライブレコーダー装備車

ドライブレコーダーの 早期導入を

町長

導入を考える

【門脇】ドライブレコーダーは映像記録のほか、運転のアドバイスなど事故防止機能が向上し、動く防犯カメラとして期待されている。

職員が安心して公用車を使用できるよう、速やかに導入すべきだ。

【町長】事故防止や地域の安全・安心のために録画機能が活用できる。導入を考えたい。

【門脇】普及のきっかけとして、補助金の創設を考えてみては。

【町長】本体が1万円を切る価格であり、補助制度は考えない。

施策の基本に人材育成を

町長

地域自主組織などで育成している



人材育成も担う地域自主組織

【門脇】まちづくりの基本は人づくり、人材育成だ。そのために町のリーダーである町長が育成プログラムを作り、それに沿った施策を実施することが必要ではないか。

本町の事業や施策の基本に、人材育成を置いて計画・実施・評価をしてはどうか。

【町長】地域自主組織、まちづくり団体や、さまざまな交流事業で人材育成を行っている。

各組織で計画、評価しており、育成プログラムをまとめる考えはない。